

IM 研修会受講報告
—ISAF 国際計測員研修会 (IM Workshop) に参加して—

柴沼克己
(国際委員会委員)

ISAF の2012年年次総会が開催される直前の11月1日～2日にアイルランド・ダブリンにあるロイヤルセントジョージヨットクラブで見出し研修会が、IM (International Measure : 国際計測員) の質の向上と意見交換の場として ISAF-IMSC (IM sub-committee: IM 小委員会) が主催して開催されたものです。IM を対象としたものでしたが他のレースオフィシャルズ (IJ, IU, IRO)、ISAF 会議参加者なら誰でも参加できるということで情報収集と勉強のため参加しました。

講師・各クラス/イベント代表の発表者を含めて62名が参加 (内 IM でない者19名) し、パワーポインターを活用してのプレゼンテーションで質疑応答も含めて熱心な研修会でした。

参加費用は無料で、一日2回の休憩時のお茶、初日の昼食と夕食も ISAF 持ちでした。アジアからは韓国の Jang (IM/OP)、シンガポールの Eileen Lee* (シンガポール) と私の3人でした。

OP からアメリカズカップ艇・外洋大型ヨットまでの幅広い艇にまつわる計測とその管理手法についてその一端を垣間見ることができ、また多くの IM との交流もできた研修会でした。

第一日目 (0930-1800)

1、次のクラスがその協会のプレゼンテーションを行いました。

- パート A : オプティミスト (OP)、RS:X、RS:X 以外のボードとカイト、OK ディンギー、フィン、ヨーロッパ、レーザー、スプラッシュの各クラス
- パート B : 9er (49er と 29er)、420、470、スナイプ、ファイアーボール、ライトニング、トーネード、FD の各クラス
- パート C : スター、メルゲス24、ミクロ、ドラゴン、12メーター、RC44、IRC と ORC の各クラス

2、プレゼンテーションの内容

- ・技術委員会の機能/権限と任命
- ・チーフメジャラーの機能/権限と任命
- ・IM と公式計測員の任命と訓練
- ・クラス規則の管理

- ・ 証明システム、ビルダー管理とその認証
- ・ 主要大会における検査手順
- ・ ISAF との関係
- ・ その他の関連する技術情報

第二日目（0900-1400）

- 1、PFD（Personal Floating Devices/個人用浮揚用具）に関する規則、計測と検査について
- 2、” R” ヨットスカントリング規則
- 3、” ハル” 調整システムのハル計測
- 4、フィンクラス規則の発展
- 5、フィンのオンライン証明データベース
- 6、計測の結果と決定の規則（計測した数字と誤差：その数の取り扱い）
- 7、より効果的な装備検査
- 8、2012年オリンピック・パラリンピック大会の装備検査
 - ・ 装備検査の方針と手順書
 - ・ 装備検査～9名の IM と16名のアイスタントで対応
 - ・ 各クラス大会報告書
- 9、第33回アメリカスカップの装備検査
- 10、IMSC の2009-2012年の訓練計画
 - ・ 概要
 - ・ クリニックとセミナー
 - ・ IM テスト
 - ・ IM マニュアル
 - ・ 現役 IM の研修・訓練
 - ・ 2013-2016年とそれ以降についての提案
- 11、2013-2016ERS: 変更点の概要
- 12、大会計測・検査を少なくする
 - ・ 費用の削減・・・大会日数・アシスタントの削減
 - ・ 選手/チームが自主的に計測できるようにする
 - ・ 計測証明（書）について、シリアル番号の活用、
 - ・ インハウス・サーティフィケーション

以上

（記：2012.11.14）

* : Eileen Lee (女性・日本語も堪能) …さる 9 月に葉山で開催された ISAF-IM セミナーに参加した。ISAF 会議期間中に新レースオフィシャルズの審査があり、レーザークラスの IM に認定された。

本研修会のプレゼン資料は合計約 30 件の PDF/WORD/EXCEL ファイルに収められています。必要な方はコピーをします。

ご連絡下さい。 e-mail address: shiba_katsumi@ybb.ne.jp